

伝えたい

# まちの遺産

## 円宮寺の避難洞窟(河内)

— 命の重さ、尊さに感じ入る —

「人」ひとりの命の尊さ、重さ。比して現代の命の粗末さ、軽さは多くの人が感じているところであろう。我が身を無にして円宮寺良観を守った河内の村人の庇護精神は、佛に帰依した人だけに与えられた比類無き佛心の働きであったことだと思っています。

### 円宮寺の避難洞窟

天正三年(一五七五)八月、織田信長軍は大群を率い越前に侵攻して、対峙する一向一揆勢を粉砕し、またたく間に一國を平定した。杉津口の守備についた円宮寺良観も、河内の善力坊、干飯の善光坊を率い奮戦したものの敗れ、織田軍の激しい残党狩りから逃れるため河内の洞窟に身を隠し、やがて加賀へ亡命をはかった。

良観が避難した洞窟は、河内集落から約3km山中に入ったところに存在する。洞窟の中は約4mの広さがあり、高さも2m余りある。また、南方から光が差し込み、北方からは水も流れており、身を隠すには好条件の洞窟である。

### へびたすら僧を守るための庇護の佛心

当時の河内区には、世帯四十四戸、人口百二十人がいたらしい。織田勢は、円宮寺良観の隠し場所を白状させるため一向一揆に同心した三人の村人を捕らえ、横を流れる河野川の堰堤に逆さ吊りにし、繰り返す拷問を加えたという。しかしながら、三人は命を絶たれるまでとうとう白状しなかったという美談が今なお語り継がれている。一方、洞窟に隠れた良観の所へ

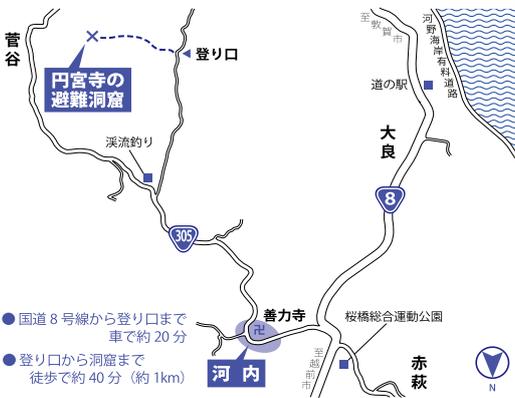
は、二人の村人が食糧を連日運んだと言われている。その際、洞窟へ行くときは草鞋を逆さに履き、帰りは正常に履いて、山から外に出た足跡しか残らないように工夫したと伝えられている。



いずれの村人も、僧に帰依し、佛を仰ぐのと同じく僧を敬い、崇拝すらしていたのである。当時に対し現代はどうだろう。あまりにも、人の命が軽すぎはしないか? 感じ入るところ大であります。

現在、円宮寺の避難洞窟は町の文化財に指定され、洞窟までの道も整備されております。時間的に余裕がある方や関心のある方は、一度訪ねてみてはどうでしょうか。

(南越前町文化財保護委員 網田浩淳)



洞窟登山道案内図

- 国道8号線から登り口まで 車で約20分
- 登り口から洞窟まで 徒歩で約40分 (約1km)

## 地域包括支援センターです

保健福祉課内 地域包括支援センター TEL 47-8009

こんな時には  
お気軽にご相談ください

こんにちは

「地域包括支援センター」は、高齢者のみなさんができるだけ元気な状態で要介護状態にならないような予防対策を紹介したり、いつでも住みなれた地域で安心して生活していけるよう、様々な相談に応じています。介護サービスや保健・医療・福祉サービス等、地域の身近な総合相談窓口として、お気軽にご利用ください。

おばあちゃん、最近物忘れが多いんだけど、どこへ相談したらいいのかな?

介護のことで  
悩みが  
あるんだけど...

病院から退院と  
いわれたけど、  
やっていけるか  
心配...

一人暮らしだけど、  
この頃  
家事をするのが  
しんどい...

最近、  
足腰が弱って  
転ぶことが  
多いんだけど...



※相談内容に関する  
秘密は厳守します。